
本学の組織

図書館について

健康保健センターについて

国際交流センターについて

教職支援センターについて

神戸常盤地域交流センターについて

神戸常盤ボランティアセンターについて

図書館について

図書館は、みなさんの学習・研究のための施設です。どんどん利用して学習研究活動に役立ててください。図書館は、みなさんの自学自習を応援します。

開館時間

授業のある期間

月曜日～金曜日 9：00～20：00
土曜日 9：00～14：00

授業のない期間

月曜日～金曜日 9：00～17：00
土曜日 9：00～14：00

休館日

日曜日、国民の祝日、本学創立記念日、年末年始、蔵書点検等の整理期間

* その他 臨時開館・臨時休館および開館時間の変更は、HP・図書館玄関・インフォメーションロボットの図書館開館カレンダーでお知らせしていますのでご確認ください。

館内閲覧

1. 館内はすべて開架方式です。書棚から自由に取り出して利用してください。
2. 利用済みの図書は、書棚横にある返却台に置いてください。書棚に戻す必要はありません。

集密書架の利用について

集密書架の資料の利用にあたっては、他の人の利用に十分気をつけてください。

書架に入る時には必ず書架が動かないように、前後の書架をロックしてください。

館外貸出

自動貸出返却機、またはカウンターで手続きをしてください。

1. 貸出期間 2週間

* 貸出延長は予約のない場合に限り1回可能です。手続きをした日から2週間貸出期間が延長されます。返却期限日までにWeb上、自動貸出返却機、またはカウンターで手続きをしてください。

2. 貸出冊数 7冊まで

* 事典・雑誌・紀要・新着図書・DVDは、貸出できませんので、ご注意ください。

図書の予約

貸出中の図書を次に借りたい時、予約ができます。Web上、または「図書予約申込票」に記入し、カウンターで手続きをしてください。なお、置き期間中は貸出可能の連絡より1週間です。

貸出図書の返却

- ・ 返却期限日までに自動貸出返却機で手続きをするか、カウンター、または図書返却口にお返しください。
- ・ 返却期限を守ってください。返却期限に遅れた場合、**1日1冊につき1日、館外貸出を禁止**します。
- ・ 閉館時には図書館玄関右側にある図書返却口に入れてください。

- ・資料を破損、汚損、紛失した場合には速やかにカウンターに申し出てください。原則として**現物で弁償**してください。
- ・卒業、退学等学籍を離れた場合および、休学する時は貸出中の図書は、必ず返却してください。

文献複写

図書館内では、著作権法31条の定める範囲内で図書館所蔵の資料を複写することができます。文献複写はセルフ方式ですが、「文献複写申込書」に記入し、カウンターで確認を受けてください。所蔵の資料以外の本やノートのコピーは、著作権法の定めにより、図書館内ではできませんので、ハローホール、キャリア支援課、4号館2F廊下のコピー機をお使いください。

施設・設備の利用

1. グループ学習室

グループ（3名以上）での学習や研究のために利用できます。「グループ学習室利用申込書」に記入し、カウンターで申込をしてください。グループ学習室利用の注意を守ってご利用ください。

2. パソコン

蔵書検索用・文献検索用端末を設置しています。自由にご利用ください。ノートパソコン（館内利用のみ）、Chromebook（学内限定で館外利用可・貸出当日限り）の貸出は、学生証を提示して、カウンターで申込をしてください。学生プリンタの利用ができます。

3. 視聴覚ブース

ビデオ・DVDの視聴ができます。自由にご利用ください。私物の資料の視聴はできません。

利用上の注意

1. 入館・図書の貸出は、**学生証のバーコードで行います**。入館時には学生証をご持参ください。
2. 図書は大切に取り扱いってください。**書き込みや線引きはしない**でください。
3. 借りだした図書を他の人に貸すことはできません。
4. 館内では他の利用者の迷惑にならないように静かにしてください。
5. 館内で**飲食はできません**。飲食物は館内に持ち込まないでください。
6. 館内での**携帯電話の通話は禁止**です。マナーモードに設定してください。
7. 濡れた傘の館内持ち込みはできません。傘立てにいれるか、傘袋に入れてください。
8. 私物や図書を机の上に放置しないでください。貴重品は常に身につけてください。
9. その他、図書館員の指示に従ってください。

図書館オンデマンドガイダンス

利用方法、図書・文献の探し方などについてのガイダンスをWeb上で公開しています。【図書館ホームページ>学修支援>オンデマンドガイダンス】

対面でのオンデマンドガイダンスを希望される方は、前日までにお申込ください。（平日10時～17時）個人でもグループでも都合の良い時間帯に、必要な内容で、ガイダンスを実施します。

- ・図書館利用ガイダンス：図書館の利用方法について（20分）
- ・図書・雑誌の探し方ガイダンス：所蔵している図書・雑誌の探し方について（30分）
- ・文献検索ガイダンス：データベースを使った文献検索の方法について（30分）

図書館ホームページ

図書館からのお知らせ・休館日開館時間変更・利用案内・蔵書検索・文献検索・電子書籍などのご案内をしています。各種申込では、学習図書購入希望申込（リクエスト）などWeb上でできる申込、マイライブラリの案内をしています。マイライブラリのパスワード発行申込をすると、Web上で図書の貸出延長や予約の手続き、自分の借りた図書や予約状況の照会ができるようになります。

<https://libweb.kobe-tokiwa.ac.jp/>

健康保健センターについて

健康保健センターには健康管理室と学生相談室があります。

健康保健センターは、学生のみなさんが心身共に健康に学生生活を送れるようみなさんのところとかからだをサポートします。

【健康管理室】

健康管理室は、定期健康診断の実施や、健康診断書の交付、健康相談や、怪我、病気などの緊急対応をします。

1. 定期健康診断

定期健康診断は、「学校保健安全法」第13条に基づき毎年実施されます。検査項目は内科検診・胸部X線・身長・体重・視力・尿検査です。これらの項目をすべて受診していないと各種証明書の発行が停止になりますので、学生のみなさんは、必ず受診してください。受診した結果については、5月中旬頃までに全学生に配布します。受診結果について心配があれば、ご相談ください。

健康診断の結果により、必要と認められた人については、欠席または休学を命ずることがあります。

2. 健康診断書の交付

就職、実習などで健康診断書が必要な方は、キャリア支援課まで申込をしてください。

申し込み方法 証明書発行願（キャリア支援課カウンターに設置）に証紙（200円・事務局内の証紙券売機にて発売）を貼付のうえ、キャリア支援課まで申し込んでください。

申し込み受付時間／平日9時～17時 土曜日 9時～14時

交 付／申し込み翌日10時30分以降

キャリア支援課カウンターに領収書を持って取りにきてください。

3. 健康相談

医師および看護師による健康相談。健康に関することについて気軽に相談してください。

担 当 本学教員（医師・看護師）

詳細はキャリア支援課にお尋ねください。

4. 救急対応

みなさんが、安心して学生生活を送れるように、急な病気、怪我に医師・看護師・養護教諭が対応します。救急の場合は、すこラボ、キャリア支援課まで申し出てください。

5. 各種ワクチン接種歴および抗体価の記録・保管

各学科臨地実習に入る前までに必要とされるワクチン接種歴およびワクチン抗体価の記録を保管し、必要時に関係機関に提出できるように保管します。

6. 健康保健センターニュースの配信

現在流行している感染症の情報や対応などを適宜学内ホームページに発信しています。

【学生相談室】

学生相談室では、以下のとおりカウンセラー・事務職員による学生相談を設けています。

1. カウンセラーによる学生相談

カウンセリングルームでは、カウンセラーの先生が次のようなことで相談を受けています。もちろんそれ以外のことでもかまいません。お気軽に訪ねてください。

人間関係について・・・

- ・友達とうまくやれない気がする
- ・先生に誤解されている気がする
- ・家族との関係で悩んでいる
- ・グループの中で浮いてしまっている
- ・たくさんの人が集まる場所にはいっていけない

学業について・・・

- ・授業に出たくない、気力がわかない
- ・授業についていけない
- ・休学や退学を考えている
- ・実習のことで悩んでいる

自分自身のことについて・・・

- ・自分の性格や適性を知りたい
- ・進路について考えたい
- ・自分になんとなく自信がない
- ・箱庭療法、心理テストを試してみたい

恋愛のことについて・・・

- ・彼氏（彼女）ができない
- ・彼氏（彼女）とうまくいかない

その他

- ・眠れない、起きられない
- ・食欲がわからない、食べられない
- ・なんだかモヤモヤする
- ・なんだかしんどい

☆「こんな事を相談にいてもいいのかな・・・」と思うようなことでもかまいません。

どんな内容でも受け付けます。なお、相談内容の秘密は厳守します。

<開室日時>

※授業時間割・年度により変動しますので、年度初めのガイダンスや広報物で確認してください。

<利用のしかた>

- ・開室時間に直接カウンセリングルームへお越しください。
相談中でなければ利用できます。
- ・以下の方法で予約もできます。
予約専用メールアドレス counseling001@kobe-tokiwa.ac.jp を利用
・学籍番号、名前、相談希望日時（第3希望まで）を送信してください。
・相談日時の結果は、後日返信します。対面でのカウンセリングの他に、
電話やwebでのカウンセリングも行っています。



<場所>

本館3F学生用掲示板の裏側の廊下つきあたり手前

2. 事務職員による学生相談

ちょっと聞いてほしいことがあるんだけど・・・。カウンセリングルームにはちょっと行きにくい・・・。という時のための学生相談です。メンタルヘルス関係のイベントも用意しています。予約は要りませんので開室日に直接研究室棟1階の健康管理室を訪ねてください。

国際交流センターについて

国際交流センター(GCC : Global Communication Center)は、ネパール交換研修制度や基盤教育科目「国際理解」の開講、「大学コンソーシアムひょうご神戸※」への授業科目開放、さらに「異文化体験プログラム」の開催などみなさんの国際交流活動のサポートを行っています。また英語を主とする外国語書籍、CD等、語学学習設備の提供なども行っています。各学科に国際交流センター委員が配属されていますので、興味のある人はたずねてみてください。

主なプログラム

1. ネパール交換研修制度

1997年に本学同窓会とネパール王国(当時)カトマンズ市のハチガンダ福祉協会との間で姉妹提携が結ばれ、隔年で学生を派遣する交換研修制度が発足しました。本学の研修生は、感染症・眼疾患診療所/医学研究・教育研究センター(Shiba Kuti)を研修拠点として、首都カトマンズの医療、教育関係施設などの見学を行います。また、福祉協会会員宅にホームステイしながら、異なる文化・宗教・習慣・価値観等を体験します。その他にも、ネパール医科大学やKIST技術系大学において両国学生同士の交流も行います。これらの研修で得たことは、帰国後、大学祭などで発表することとしています。

2. 基盤教育科目「国際理解」

海外に行くことに興味のある人、また、異なる文化に触れてみたい人などを対象に、国際交流センターが主体となり基盤教育分野科目「国際理解」を開講しています。この科目は異なる文化的背景や価値観を持つ人々と共生する受容力を身につけることを目的に、異文化体験をしたゲストスピーカーの講義を聴き、多文化共生について理解を深めるものです。

3. 医療系科目「国際保健医療活動II」の【大学コンソーシアムひょうご神戸】への開放

日本と比較して医療施設や保健施設が整っていない“ネパール”、先端医療技術を用いて高度な医療を提供している“アメリカ”、この2国のいずれかを選択して訪問します。事前研修において訪問先の医療、保健事情について学び、予め日本との比較を行ったうえで現地を訪問します。帰国後は事後研修にて訪問報告及び討論会を実施し、各国の理解をさらに深めます。この科目は、「大学コンソーシアムひょうご神戸」に科目開放しており、参加を希望する他大学の学生とともに学べるプログラムです。

4. 異文化体験プログラム

「ヨガを通じてインドの文化に触れる体験プログラム」「ネパール語講座」などの異文化体験プログラムを定期的で開催しています。また本学は神戸国際コミュニティセンター(KICC)と包括連携協定を結んでおり、神戸市の国際交流・多文化共生の推進に寄与することを目的に、KICCの異文化体験プログラムの紹介も行っています。

※大学コンソーシアムひょうご神戸とは

兵庫県下の高等教育機関が加盟し、それぞれの大学の特長を活かしつつ、国際交流・学生交流・地域交流などの連携業務を行っています。

教職支援センターについて

1. 教職支援センターの目的と役割

本センターは、「小学校・中学校教諭、公立幼稚園教諭・保育士、養護教諭を志す学生への進路支援」を目的とした活動を実施しています。具体的には、キャリア支援課や就職委員会、関連学科とも連携し、学生が主体的・意欲的に夢実現に向けてキャリアアップが図れるよう教職等支援を行います。そのために、主に次の3つの役割を担っています。

- | | |
|----------------|---|
| (1)採用試験対策の実施 | 実際に行われる、1次試験（一般教養・教職教養、専門教養）、2次試験（集団・個人面接、集団討論、場面指導、模擬授業、論作文等）に備えて、各種学習会・勉強会・セミナーの企画・運営、学力把握テスト・模擬試験の実施。 |
| (2)採用試験関連情報の提供 | 小学校教諭・養護教諭志望者には兵庫県・神戸市・大阪府及び関東圏を中心に情報提供。志望自治体の選択や効果的試験対策に寄与する情報をタイムリーに発信。
また、試験対策に欠かせない過去問題集・参考書、小中学校の教科書等を備え、いつでも閲覧可能に整備。 |
| (3)学校現場等との連携 | 教職等実践家として必要な感性を磨き、モチベーションアップを図る機会を提供。現場体験活動（近隣小中学校スクールボランティア・神戸市すこやかフレンド）、合格者座談会（キャリアサポーター招聘）等の企画・実施。 |

学生の志望職種・自治体、学力、生活環境（学びの環境）などは、一人ひとり異なります。関連組織と連携し、学習状況の把握や指導・相談業務を行い、「教職等に就きたい」という学生の夢の実現を共に目指していくところが教職支援センターであるとも言えるのです。

2. 教職支援センターの活動内容

本センターでは、次々ページに掲げる『教職等支援プログラム』に示すように、入学時から採用試験本番を迎える4年次までを見通したスモールステップを用意しています。これを計画的且つ着実に刻むことにより、学生を全力で支援します。

(1)各学年のスモールステップの概要

- | | |
|------|---|
| ①1年次 | ……4月のガイダンスに始まり、通年で『定例学習会』を実施します。前期は学び方の修得をねらいに学科で、後期からは学力向上を目指し教職支援センターで指導します。年3回の『学力把握テスト』や春・秋開催の『合格者座談会』、『春季集中学習会』、後期からのスクールボランティアも実施します。 |
|------|---|

② 2年次 …… 学習会は、範囲が広く時間のかかる『一般教養』にターゲットを絞り、前期は神戸市、後期は兵庫県・大阪府の過去問を攻略します。また、『夏季弱点フォロー勉強会』、大手受験塾による『基礎力養成講座』等も本格化します。1年から引き続き、前期はスクールボランティアも実施します。

③ 3年次 …… 学習会の力点は、前期『教職教養』、後期「教職教養」に加え『専門教養』へと移ります。全国規模の模擬試験(3年次11・1月,4年次4月)で、自分の実力を客観的に把握し、志望自治体を確定させていきます。『論作文・面接講座』、専門教養対策『春季セミナー』、教育実習等も開始され『本気度』が試される時期です。

④ 4年次 …… 採用試験本番に向けて、学習会は『教養・専門試験科目』の点検と実技の確認、集団・個人面接、集団討論、場面指導、模擬授業、論作文等の『人物試験対策』の仕上げにかかります。志望自治体の特色に応じた準備・点検が必要です。また、採用試験詳細情報の把握、志願書提出等も万全を期して支援します。

(2)「教職等支援プログラム」の用語の内容説明

①「定例学習会」について

学年	前期学習内容	後期学習内容
1年	「学び方」の修得	「兵庫県」「大阪府」一般教養過去問 「主要教科」演習問題 (1・2年共通)
2年	「神戸市」一般教養過去問	
3年	教職教養(解説と過去問) ＜学力向上プロ②と連動して実施＞	E3 → 教育実習後：教職教養(専門別枠) N3 → 臨地実習後：教職教養
4年	教職教養・集団討論・場面指導・面接対策 ＜志願書・直前対策：個別に対応＞	※ 合否を踏まえた進路相談・手続きに随時対応、希望者への学習会継続

②「学力把握」について

年3回(4月・10月・1月)、教職支援センター作成の学力把握テストを実施します。自分の学力の現状把握や振り返りの機会とします。また、進路相談等にも役立っています。

③「弱点勉強会」について

夏季休暇中に3回実施します。勉強会①は「一般教養」(対象:E1・2、N1～3)、勉強会②は「教職教養」(対象:E3、N3)、勉強会③は英語・音楽・情報など学科教員の専門性を生かした「一般教養」(対象:E1～3、N1・2)対策を実施します。

④「学力向上プロ」について

大手受験塾による各種講座のことです。プロ①は「一般教養」の基礎学力養成講座(E1・2、N1・2)、プロ②は「教職教養」(E3、N3)、プロ③は「論作文・面接」(E3)です。

令和5年度 教職等支援プログラム（予定）

学科	学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
こども教育学科	1年	学内ガイダンス	学力把握①			弱点勉強会①	弱点勉強会③	学力把握②	合格者座談会		学力把握③				
		定例学習会：前期→木曜5限、後期→火曜5限				学力向上プロ①（基礎力）				春季集中学習会					
	2年	学内ガイダンス	学力把握①			弱点勉強会①	弱点勉強会③	学力把握②	合格者座談会		学力把握③	採用試験説明会			
		定例学習会：前期→水曜4限、後期→水曜4限				学力向上プロ①（基礎力）				春季セミ・集中 ↑3年保幼希望者含む					
	3年	学力把握①				弱点勉強会②	弱点勉強会③	学力把握②	模試①（学内S）	模試②（全国）	学力把握③	自主学習会			
								受験対策説明会①	合格者座談会				春季セミ・集中		
		学力向上プロ②（教職教養）				学プロ③（論作文・面接等）				定例学習会：前期→火曜5限、後期→木曜5限					
	4年	学力把握①	採用説明会 志願書提出	採用試験 〈一次〉	採用試験 〈二次〉	合否踏まえた進路相談・手続き (含:「臨時講師登録」支援)									
		受験対策説明会②	直前対策 (教職・一般教養、時事・論作文、面接・討論)												
		模試③ (自治体)	定例学習会：火曜2限・水曜1・2限・木曜1・2限											卒業後も受験希望者→学習会継続	
	看護学科	1年	学内ガイダンス	合格者座談会	学力把握①		弱点勉強会①	弱点勉強会③	学力把握②			学力把握③			
			定例学習会：前期→水曜5限、後期→月曜3限				学力向上プロ①（基礎力）				春季集中学習会				
		2年	学力把握①	合格者座談会			弱点勉強会①	弱点勉強会③	学力把握②			学力把握③			
			定例学習会：前期→木曜5限、後期→木曜1限				学力向上プロ①（基礎力）				春季セミ・集中				
		3年	学力把握①	合格者座談会			弱点勉強会①	弱点勉強会②	学力把握②	模試①（学内S）	模試②（全国）	学力把握③			模試②-2 (全国専門)
			学力向上プロ②（教職教養）								春季セミ・集中				
定例学習会：前期→火曜5限、後期→月曜2限															
4年		学力把握①	採用説明会 志願書提出	採用試験 〈一次〉	採用試験 〈二次〉	合否踏まえた進路相談・手続き (含:「臨時講師登録」支援)								模試②-2 (全国専門)	
		模試③ (自治体)	直前対策 (教職・一般教養、時事・論作文、面接・討論)												
		定例学習会：火曜1限・水曜1・2限・木曜2限						卒業後も受験希望者→学習会継続							

神戸常盤地域交流センターについて

本学は、「地域社会の発展に寄与すること」を建学の精神に掲げるように、神戸常盤短期大学時代より、地域の方々や卒業生たちが生涯にわたって学習できるリカレント教育並びに公開講座などを行う「神戸常盤エクステンションセンター」を開設するなど、「地域と共に歩む大学」として、地域社会に貢献する活動を実施してきました。

神戸常盤地域交流センターとは？

本学が行う地域交流・連携及び社会貢献の総合窓口として、大学と地域を、また学生と地域を繋ぐ「かけ橋」として神戸常盤地域交流センター（以下、「地域交流センター」という。）が誕生しました。地域交流センターは、学生の皆さんが地域社会をフィールドに、教育課程内外を通じて、所属学科の特性を活かした様々な活動を展開し、社会人として、また専門職業人として必要な「力」を伸ばしていく場所です。大学の中では学べない、教科書だけでは学べない経験が、皆さんの「学び」に繋がります。

わいがやラボとは？

地域交流センターの活動拠点、すなわち学生の皆さんの活動を推進する場所として、本館5階に「わいがやラボ」があります。学生同士の交流はもちろん、地域の方々とも交流できる場所、また楽しく集える空間です。

また、学生の皆さんが、地域に貢献できる活動などを自ら企画できることが最大の特徴です。

- ・ 地域をフィールドとした学生主体の企画スペース
- ・ 地域住民との交流スペース
- ・ ボランティア活動スペース

地域交流センターの主な取組

地域交流・貢献活動

TOKIWA 健康ふれあい
フェスタ

学園全体を挙げて、毎年、地域の皆さまを対象に、子どもから大人、高齢の方まで楽しめる様々な健康に関するイベントを学生の皆さんが中心となって実施しています。例年来場者は1,000名を超え、神戸常盤の一大イベントとして、地域の皆さまに大変喜ばれています。今年も学生の皆さんの積極的な参加を期待しています。

地域との連携

神戸市長田区と連携し、学生が長田区内のイベントを企画・運営するなど、長田の“まちづくり”に参画しています。また、要請に応じて教職員が各種委員を務める等相互連携を行っています。

その他、淡路市岩屋地区活性化プロジェクトや香川県小豆島町における地域交流合宿、福島県双葉町にある東日本大震災・原子力災害伝承館を訪れる福島研修等、様々な地域と連携し、「地域で学ぶ・地域と学ぶ」を合言葉に活動を行っています。

生涯学習

公開講座

心の豊かさを求めて、「健康」・「医療」・「福祉」・「教養」等、本学の特色を活かした講座を開講しています。普段の授業とは違う視点からの講義や他学科の先生の講義が聞ける貴重な機会です。

是非この機会を活用して更なる学びを手に入れてください。

地域交流センターのプログラムに参加するには

〔地域交流・貢献する活動〕

最新情報はこちら

- ・ポータルシステムの「お知らせ」情報
- ・本館3階の地域交流センター掲示板

参加したい活動があったら

- ・本館5階にある「わいがやラボ」にて参加申込

活動へ参加

地域で行われている活動や本学と地域が共に行う活動へ参加し、地域の課題や課題解決に取り組む地域の人々の思いに触れてみてください。

〔公開講座〕

最新情報はセミナーガイド、掲示板、本学ホームページ

- ・年2回発行のセミナーガイド
(本学事務局 庶務課備え付け)
- ・本館3階の地域交流センター掲示板
- ・本学ホームページ

受講したい講座があったら

- ・セミナーガイド最終ページの受講申込ハガキを庶務課へ提出
- ・セミナーガイド最終ページの受講申込ハガキを郵送、FAX
- ・受講申込ハガキの内容を e-mail で送信
e-mail : community@kobe-tokiwa.ac.jp

受講者の決定・手続き方法は直接連絡

受講決定者には「受講票」を送付します。

神戸常盤ボランティアセンターについて

ボランティアセンターとは

ボランティアセンターは、学生のボランティア活動を全学的に支援・推進することを目的としており、この目的を達成するために、以下の4つの役割を担っています。

- 1) ボランティア活動に関する情報収集・広報活動
- 2) ボランティア活動に関する相談・支援活動
- 3) ボランティア活動に参加する学生の人材養成
- 4) 地域住民や関係機関・団体との連携・協働

学生はボランティア活動をとおして、地域貢献・社会貢献に寄与できるとともに、実学を重んじる建学の精神をまさに実践することによって、カリキュラムでは学び得ないことを学び、自らのさらなる成長へと繋げることができます。

ボランティアセンターが行ってきた活動

- 1) 地域でのボランティア活動（主なものを抜粋）
 - ・一七市拡大版（障がい者地域活動支援）
 - ・1.17KOBEに灯りをinながた（阪神・淡路大震災追悼行事の運営協力）
 - ・「LOVE49」子宮頸がん検診受診啓発キャンペーンボランティア
 - ・児童館や高齢者施設、障がい者施設等の行事ボランティア
 - ・地域防災訓練等における炊き出しボランティア
 - ・災害ボランティア活動

大規模災害発生時には社会福祉協議会等関係機関と連携し、現地での緊急支援活動を実施しています。

ボランティアセンターでのボランティア活動に参加するには

- 1) ボランティア情報を入手する
 - ↓ ボランティアセンターからのメール情報
 - ↓ ボランティアセンター掲示板による情報
- 2) 参加したいボランティア活動があれば意思表示する
 - ↓ ボランティアセンターにメールを送信する
 - ↓ ボランティアセンターに直接来所する
- 3) コーディネーターによるマッチング
 - ↓ ボランティア活動とボランティアをしたい学生を繋げる
 - ↓ 学生の活動ニーズを把握しボランティアフィールドを探し、繋げる
- 4) ボランティア活動に参加する
 - ↓ 単発的なボランティア活動
 - ↓ 継続的なボランティア活動
- 5) 参加したボランティア活動に対する振り返りを行い、次の活動に活かす

MEMO